

教科目名 現代英語 II (Modern English II)

専攻名・学年 : 全専攻 2年 (教育プログラム 第4学年 ○科目)

単位数など : 選択 2単位 (後期1コマ, 授業時間 23.25時間)

担当教員 : 大木正明

授業の概要			
現代における国際的な感覚を養う方法のひとつに「環境問題」がある。国際性豊かな人格とは、いわゆる全世界的に通用する話題を深く理解することであり、それがなければ、互いのコミュニケーションは成り立たない。そこで本講義では、映画に登場する環境に関する話題を通して英語の文章構造、文法、そして英語独特の言い回しを理解し、同時に工学を学ぶ際には無視できない環境問題を通じて、円滑なコミュニケーション能力の涵養を図るものである。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (G2), JABEE 目標 (f)	
(1) 国際人として通用するためには実践的な英語表現は必要不可欠である。文化的かつ物語的なテキストを完読し、日常に必要な表現などをコミュニケーションという観点から理解し身に付ける。(定期試験, レポート)			
(2) 多角的な視点から様々な環境問題を考察し、文化の違いを超えた思考の下に高度な英語コミュニケーションスキルを養い身に付ける。(定期試験, レポート)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	原子力問題 (1)	原子力実験の弊害について	【理解の度合い】
2	原子力問題 (2)	原子力利用の現在について	
3	野生動物の保護 (1)	自然環境と動物について	
4	野生動物の保護 (2)	保護区に生息する動物について	
5	海洋汚染 (1)	海洋生物の現在について	
6	海洋汚染 (2)	海洋環境について	
7	食糧危機 (1)	食糧危機の現状について	
8	食糧危機 (2)	食料確保の重要性について	
9	遺伝子操作 (1)	遺伝学について	
10	遺伝子操作 (2)	遺伝子操作の影響について	
11	水質汚染 (1)	身近な環境について	
12	水質汚染 (2)	水質環境の影響について	
13	環境問題の総括 (1)	環境問題の重要性について (1)	
14	環境問題の総括 (2)	環境問題の重要性について (2)	
15	後期期末試験 後期期末試験の解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意	毎回の予習・復習を欠かさず行うこと。		【総合達成度】
教科書	特になし。		
参考図書	八尋春海, <i>Challenging Environmental Issues</i> , 金星堂。		
自学上の注意	毎回のプリントがベースとなる。それ故、配布物の学習をメインとし、1回1回を集中して受講する。		
関連科目	現代英語 I		
総合評価	定期試験(100%)により評価する。評価が 60 点以上を合格とする。再試験は実施しない。		【総合評価】 点